

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	ザ・川の中
-------	-------

テーマ	水生動物による水質調査
-----	-------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
枝 中 麻 未	越 前 中 学 校	1 年
小 倉 美 紀	越 前 中 学 校	1 年
中 島 梨 絵	越 前 中 学 校	1 年
孫 平 知 美	越 前 中 学 校	1 年
森 木 恵	越 前 中 学 校	1 年
矢 部 寛 之	越 前 中 学 校	1 年

指導者氏名	奥 田 重 喜	教職員
-------	---------	-----

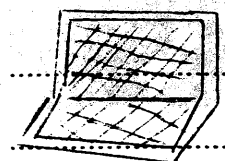
〔土〕日09月8日 秋谷町 大川小学校にて 水質調査

私がこの調査をしようと思った理由は、越前町にどれだけよごれている川があるか見てみたかったからです。越前町に住んでいる人は、よく川で洗たくをしたりしています。そうすると海がよごれて魚などが死んでしまったり私たちは、魚が食べれなくなったり、その魚を食べて病気になったりしてしまいます。これをなくすには川をよごしてはいけません。だから、調査をしてきれいかよごれているかをその水を利用している人たちに言えばその人たちも気付いてくれると思ったからです。

だから、そんな人たちに言えたらいいと思って調査をする気になりました。あと、自分の町の川がよごれないようになるべく心がけたりそのかんきょうをまもっていくために調査をしようと思いました。

◎使ったもの

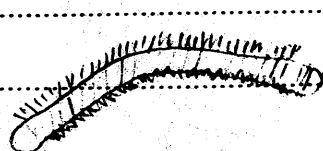
し字がたのあみ	はぶらし
竹ぐし	黄色のビニールテープ
フィルムケース	80%のエタノール
ルーペ	資料



↑
し字がたのあみ

◎調査方法

まず地点を決めてその地点まで行く。そうしたら、し字がたのあみをおいてそのあみの前に1辺が50cmの四角形のかたちをしたビニールテープを4本の竹ぐしにひっかけてその中の石を手にとり、生物のいそうな所をはぶらしではらう。生物がとれたらルーペで何の虫か見てエタノールの入ったフィルムに入れておく。



カガニホ



アメシロ



モノアラカイ



カワゲラ



サワガニ



トビケラ



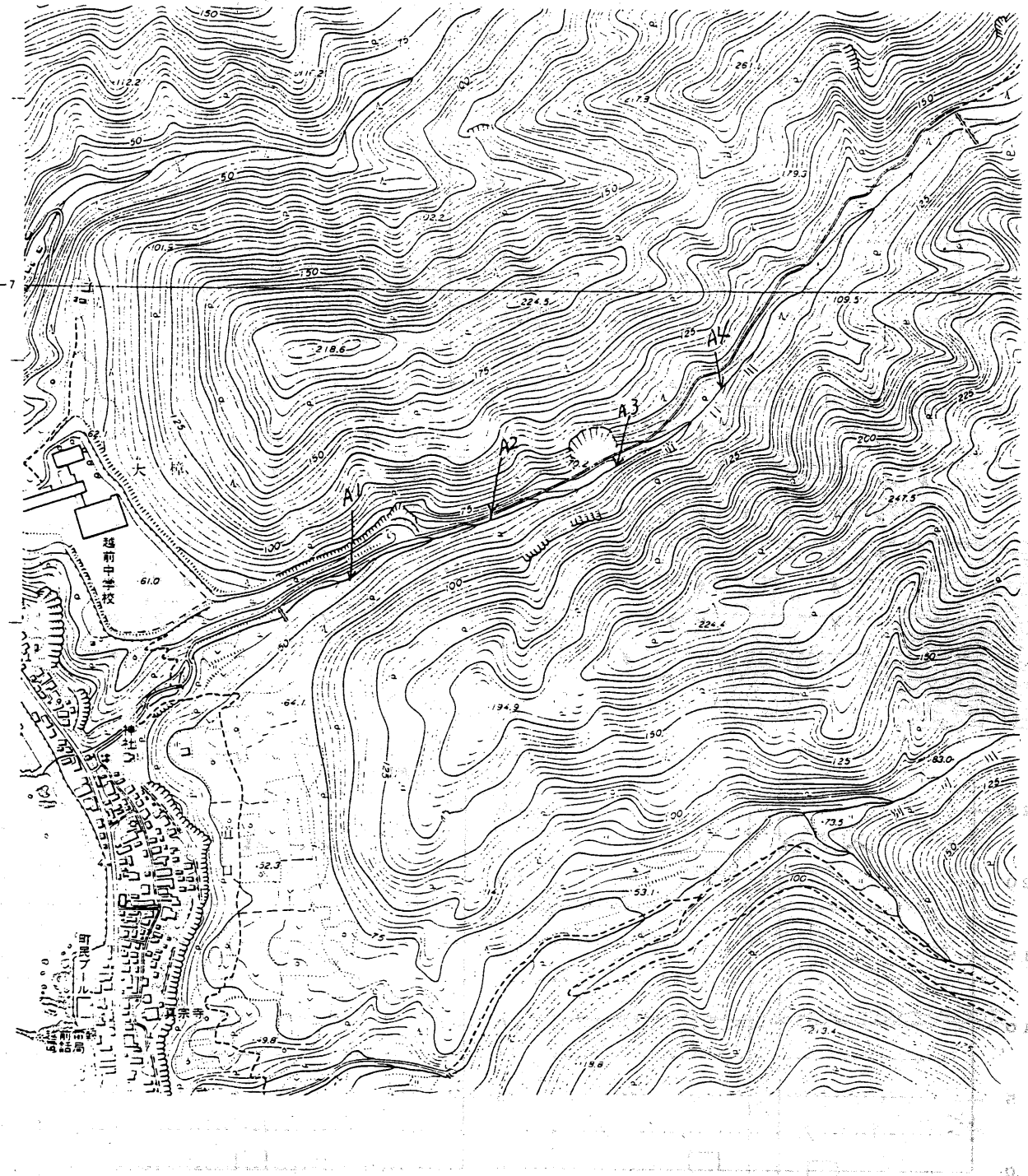
のこ残條
 なるはな川
 しちくすた
 ナナ株丁の
 ヲ若しす
 ナシと直羅
 ナ人のぞお
 、ひな計
 、ひめ。オ
 ナおじまき

よすゝ刻◎
すゝすゝ

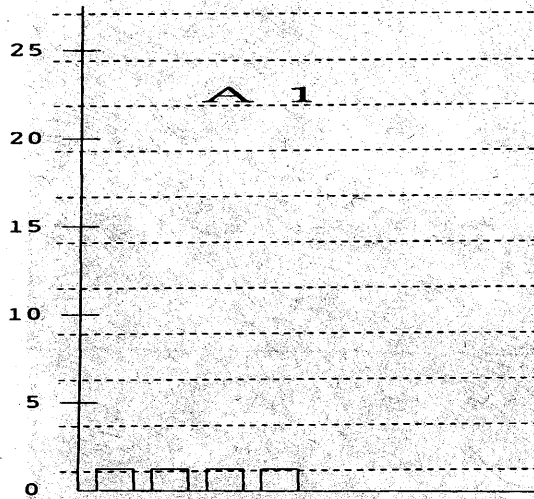
J. S. H.
 A. R. C.
 H. R. C.

株式會社

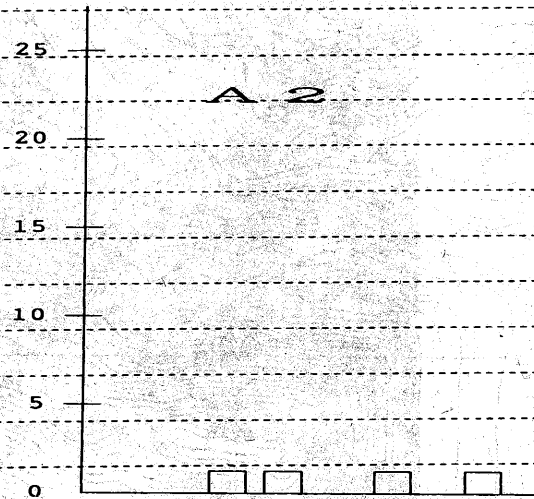




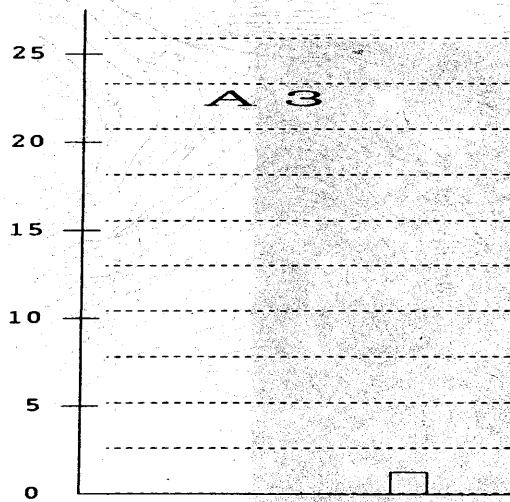
水中生物のいたグラフ 1日目



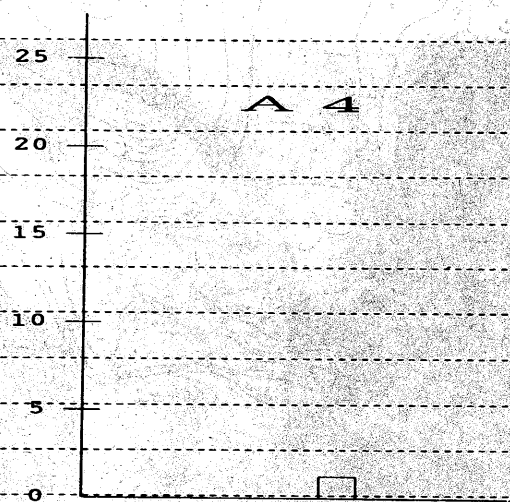
ヒ ア モ サ ト オ ウ
ル メ ノ ワ ビ オ ス
ソ ア ガ ケ ク カ バ
ボ ラ ニ ラ ラ ワ ガ
ガ カ ゲ ガ
イ ケ ラ ソ
ボ



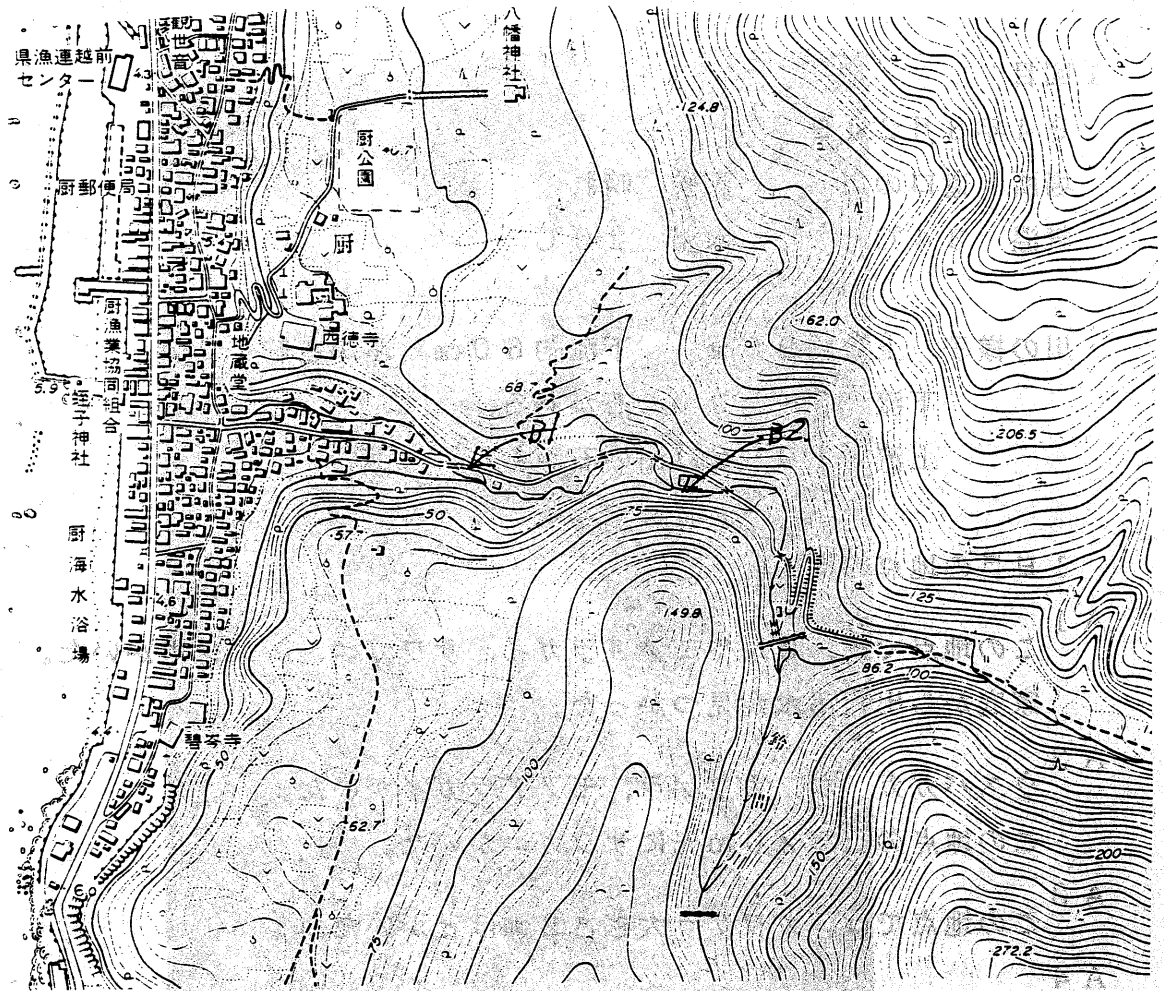
ヒ ア モ サ ト オ ウ
ル メ ノ ワ ビ オ ス
ソ ア ガ ケ ク カ バ
ボ ラ ニ ラ ラ ワ ガ
ガ カ ゲ ガ
イ ケ ラ ソ
ボ



ヒ ア モ サ ト オ ウ
ル メ ノ ワ ビ オ ス
ソ ア ガ ケ ク カ バ
ボ ラ ニ ラ ラ ワ ガ
ガ カ ゲ ガ
イ ケ ラ ソ
ボ

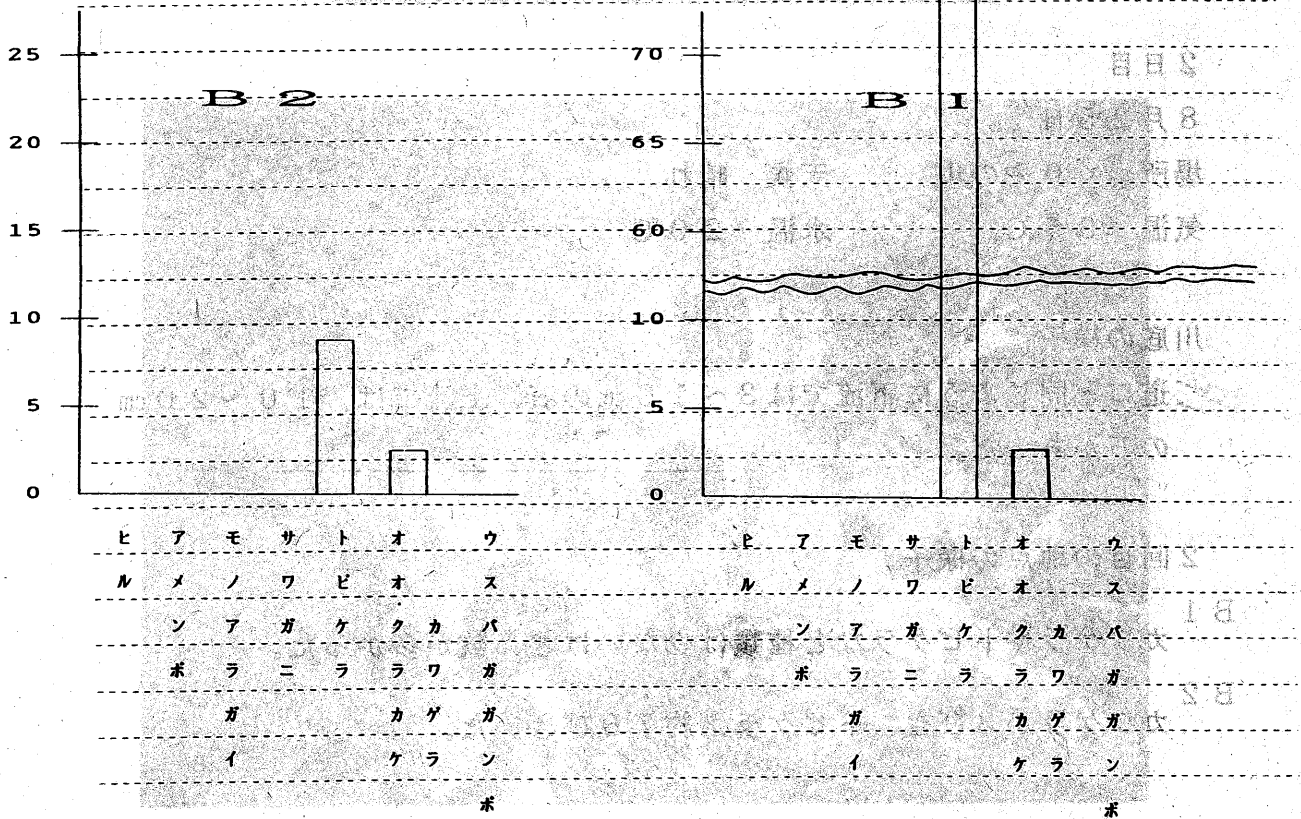


ヒ ア モ サ ト オ ウ
ル メ ノ ワ ビ オ ス
ソ ア ガ ケ ク カ バ
ボ ラ ニ ラ ラ ワ ガ
ガ カ ゲ ガ
イ ケ ラ ソ
ボ



水中生物のいたグラフ

2日目



1 回目

94年8月24日

場所 道口の川 天候 晴れ
気温 34℃ 水温 20℃

川の様子 上流約20cm 下流約60cm ふかさ約10cm

下流…3～10cmの石がある。

上流…10～20cmの石がある。

1 日目の地点の様子

- A1 この地点では、ヒルやモノアラガイ、サワガニ、アメンボがいた。
家庭から出た汚水が見つかった。
- A2 ウスバガガンボ、カワゲラ、モノアラガイがいた。
この地点の上流20m先にサワガニがいた。
- A3 この地点では、カワゲラ大きさ2cmほどがいた。
- A4 A4では、トビケラが1ぴきしかいなかった。

2 日目

8月25日

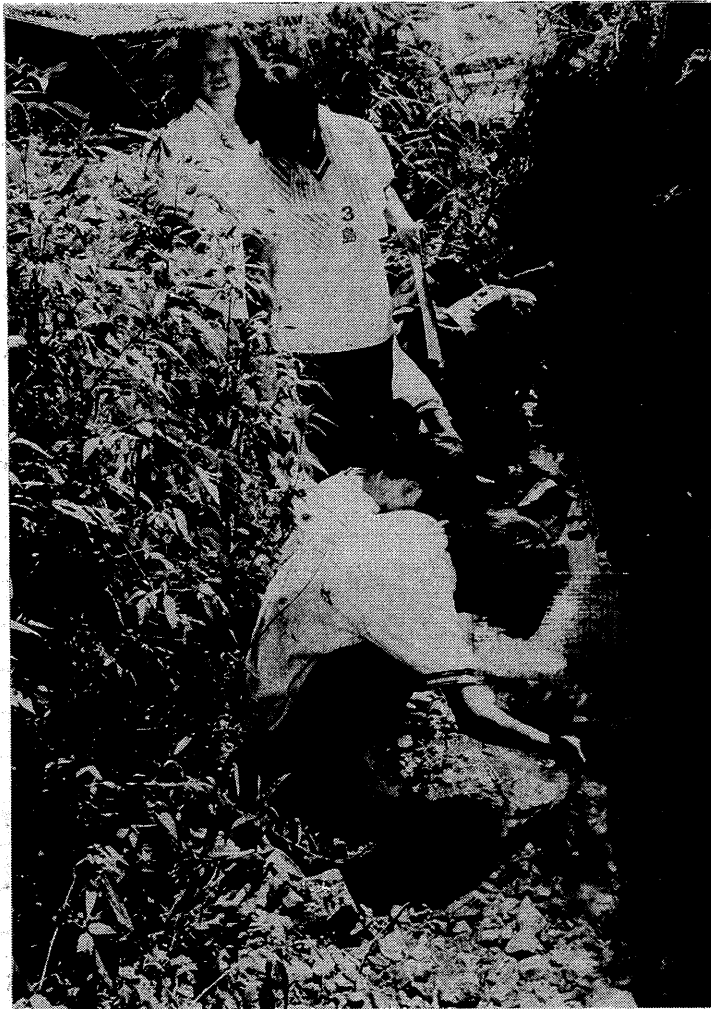
場所 くりやの川 天候 晴れ
気温 35℃ 水温 20℃

川底の様子

道口と同じように下流では3～10cmの石、上流では、10～20cm
の石があった。

2 回目の地点の様子

- B1 カワゲラやトビケラなど種類は少ないけど、数が多かった。
- B2 カワゲラが3ぴき、トビケラが約70ぴきいた。



◎わかったこと

1 日目はいろんな種類の生物がいたけど数が少なかった。

2 日目は種類はなかったけれどトビケラの数で70匹以上いた。

グラフを見て、私たちは不思議に思って、考えてみた。

気温もあまり変わらないし、水温も変わらないのになぜかなあ？と思ってみたところ、答えは道口の方は道路があって車が通るので車から出る排気ガスが川の水にとけて水がよごれるので生物が住みにくいのではないかな。もう1つの答えは冬のときに道路に氷が張るので融雪剤をまくから川がよごれてしまう。それと、アスファルトのけずれたものや車からの油が川に流れ生物には住みにくい。

厨の方は道がせまく車が通れないので水はあまりよごれていない。

それにきれいな川にすむトビケラが70匹以上もいる。

これはきれいな川だという証である。

◎結果

・道口の川には、大きな道路があり、車がよく通るので排気ガスが多く、きれいではないが上流の方は緑がたくさんあるので汚い空気が少ない。だから、排気ガスなどの汚いものがふせげる。

厨は、道がせまく、車の出入りが少ないため、排気ガスが少なくきれいなので、生物の住みやすい環境である。

◎調査をおわっての感想

川の水は冷たくて気持ちがよかったです。石にヒルやカワゲラが付いていたとき、とてもうれしかったです。

こんな虫が川にいたなんて、いままで分からなかったもので、見つけたとき、ビックリしました。上の方に行けばいくほど、とても水がきれいになりました。

私たちの使う水道の水がこんなにきれいなので、安心しました。

来年には、次の1年生にがんばって続けて欲しいと思います。

楽しかったけど、すごくつかれました。